

安心とつるおの「下町」川の手をめぐって

防災 まぢつらら夏版

発行の一言問を防災のまちにする会

平成6年9月1日



三とも通り(言内小前)の 整備が完成しました

4月23日、はばやかに祝賀会



整備されたばかりの道路を会場に
完成祝賀会がおこなわれました

「わーい、おたのしみー 全向正解」
これ私も三とも通りの十博士(?)



言問小学校前の三とも通りの片側に、頭に都鳥を乗せたボラード(車止め)が並び、カラー舗装をした路側帯が出現しました。「三とも通りを安全な歩きやすい道にしよう」と、一昨年より地域や沿道の方々、そして一言会とが整備検討を重ねてきた道路です。

4月23日には、一言会と地元の向島五丁目西町会、向島五丁目東町会とが、区長を招いて完成祝賀会を開催しました。区長と一言会会長、そして両町会の会長によるテープカットで式典は始まり、向島交通少年団鼓笛隊による華やかな歩き初め、そして言問小学校の児童達が賞品を目指して脳に汗をかいた(?)。「三とも通りの博士になろう」「クイズと、イベントも盛りだくさん。近所の方々や通りがかりの方々も賑やかさに誘われて集まり、春のセシモニーを盛り上げました。

それから...



整備が完成して5カ月がたちますが、地域の間では「傘を差しても通れるようになって安全になったよ」とか「通りが明るくなってまちに活気が出てきたみたい」となかなか好評のようです。また、マスコミや他地区からの注目も集めており、土木の専門雑誌ではまちづくりの成果としてこの通りを取り上げたり、世田谷区の職員が視察に訪れたりしています。



2007)が
しました

私がまちづくりスタッフです

そのろ2
堤通一丁目
中沢進さん
(一寺言問 副会長)



堤通一丁目町会長になられた中沢進さん。父上は長年、都議をなさり、中沢さんも区議をされている。

園長をしている墨田幼稚園は、ただいま改築中につき、緑町の仮園舎で保育をしている。

堤通一丁目は建設ラッシュ。リバーサイド隅田に続き、アサヒビール寺島配送センターが工事に続き、空地や緑地をふやして、景観のよい倉庫にしてもらいたいと、申し入れた。

二十年も昔の話になるけれど、地震坂のお地蔵様のならびに古いお屋敷があった。福沢桃介(福沢諭吉の娘婿)の別邸だった。区が買って保存できればよかったが、当時はそういう気運がなかった。思えば大倉別邸も、配送センターのところに在ったのだから、一寺言問は由緒のある町ですよ。考え深げに話して下さった。

「下町は狭い道路が特徴。独特の下町人情が息づいている。町並をこわすおそれもあるけれど、4m以上の道路にならないと防災上も危険だし、三世同居できる住宅もなかなか作れない。お年寄りや孫と一緒に暮らせる、そんな町にしたいですね。」

「中沢さんご自身も同居を希望されますか。」と木を向けると、「もちろんです。」と笑顔が返ってきた。一男一女の子供をもつ父親の顔になっていた。



これに先立ち、去る六月十八日(土)同園では、利用者による生け垣の剪定会が行われました。
下町の太陽を浴び、路地尊3号基の雨水で潤い、奔放に伸びたヒイラギやヤザンカなどの八種類の生け垣を刈り込むのは、ちょっとしたかわいそうな気もしましたが、十数名の参加者の手で、さっぱりと夏姿。

引き続きの「利用者会議」では、緑と花の学習園の武田賢一先生から、花芽摘みや消毒薬の使い方など、家庭菜園のノウハウ(秘伝)も伝授されました。
又、この秋に予定される「収穫祭」のために、「自慢の収穫物の写真を撮っておこう」と利用者の皆さん、大いに盛り上げて散会となりました。(洋)



収穫物といっしょに記念撮影

可島有季園「さっぱり夏姿」



一昨年度より検討を重ねてきた高田製薬跡地の利用策は、昨年度に「みんなの家」という計画コンセプトの利用構想案がまとまり、いよいよ具体的な設計内容を検討する段階に入ってきました。
7月21日に開かれた担当理事会では、今年度の検討方針が確認されました。今年度は概念的なイメージだけでなく、建物や広場の具体的な使い方や、そのために必要なしつらえに加え、完成後の管理運営の方法についても検討していく必要があることから、区や設計者の方々と密に協議を重ねて行く予定です。
設計案の概略は秋にはまとまる予定です。みなさん、お楽しみに!

高田製薬跡地検討中⑥

一言会では、今回の言問小学校前の整備をひとつの事例として、今後も三とも通りを「安全で歩きやすい道」にするための検討を継続していく予定です。みなさんもいっしょに、安全で歩きやすい三とも通りの将来像を考えてみませんか?



7月8日、世田谷区の職員(左)も見学に訪

いちでらことい
一寺言問/防災まちづくり瓦版
第34号 平成6年9月1日発行
編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹モト
阿部洋一・明間 藤・中村淑子
編集協力/マヌ都市建築研究所
発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261



2日の見学会にそなえて、
実行委員の人たちが会古路地(東向島)を下見

2日には、80人もの区外からの見学者が路地尊を訪れ、手押しポンプを動かしました。見学者のみなさん、天から降ってくる雨粒にはいつも触れているけれど、路地尊からでてくる雨水は珍しいみたい。



お茶の水女子大の学生さんが
お茶を淹れくれました

会場の中の休憩の場「雨水亭」では、雨水でたてた薄茶がふるまわれました。その雨水は、毎朝、「会古路地」から調達されたそうです。

板橋区から防災まちづくりの会がやってきました



路地尊(1号基)は、好意で土地を提供してくれた人がいたから、まちかどにおくことができました。路地尊2号基も、自宅の屋根を好意で提供してくれる人がいたから、雨水利用という面白い試みができたんです・・・(みんなの協力でやってきたことを説明する則武会長)

雨水利用は地球を救う —雨と都市の共生— 雨水利用東京国際会議 1994年8月1日(月)~6日(土)



路地尊、大活躍!



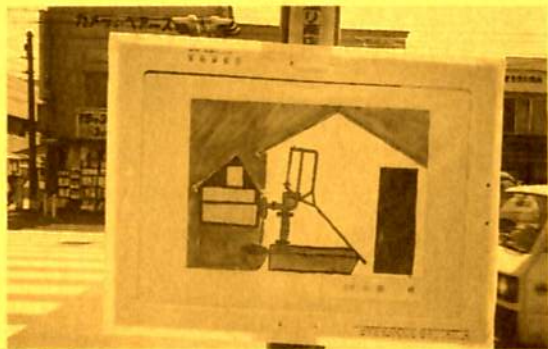
路地尊の雨水がでているまで
(セッション1「雨水利用技術の現状」の中で紹介)

「住民の発想によって生み出された雨水利用システム・路地尊！」
まちづくりのシンボルの路地尊も天水桶の機能を持たせてから、身近な雨水利用の実例として一層有名になりました。
8月1日から6日まですみだリバーサイドホールと墨田区役所で開かれた雨水利用国際会議でも、路地尊が取り上げられ、多くの参加者に紹介されました。



楽しくて、考えさせられた6日間でした。雨水利用東京国際会議、これは、天から降ってくる雨も、水道の蛇口からでてくる水と同じ水だということに気づかせてくれた、そんな会議ではなかったでしょうか。

街角ニュース



1 写生大会

商店会が主催した青空展覧会で、路地尊の絵を見つけました。とても上手に描けていたので大変うれしくなりました。(純)



2 草の根国際交流でドイツ市民の向島訪問が実現

「日本にはおもしろいものがあるネ。」 5月14日、ハンブルグ市オッテンゼン地区の住民のみなさんが向島のまちづくりを見学しました。



3 一寺・言問小でなんと同日運動会

絶好の晴天に恵まれて、5月29日(日)に一寺・言問両小学校で、奇しくも同時に「春の大運動会」が開催され、一言地区は終日、一言っ子(?)の歓声で賑わいました。(洋)



4 ビデオ映画「仁義」の撮影

6月14日地藏坂商店街でVシネマ「仁義」の撮影がありました。人気スターが出演していたので、見物人が大勢あつまりました。(純)



5 夏休みバンザイ

向島五西町会子ども会は、夏休み最初の日曜日(7月24日)に、45名が参加して栃木県那須高原へのバスハイクを楽しみました。(洋)



6 夜風 涼風 盆踊り

7月25~27日、東向島一の南町会と中町会は、墨田区民謡連盟の協力を得て一寺小校庭で、合同盆踊り大会を開催。奥山区長さんも声援にかけつけました。(洋)



7 カリンの実、7つも!

一昨年の大雪で枝は折れ、成長が心配されていた会古路地のシンボルツリー・カリンの木に大きな実が7つもなりました。

映像ジャーナリストの熊谷博子さんが日本とドイツの下町を舞台にドキュメンタリー映画を製作します。「東京・ハンブルグ ニッポの下町物語」(仮題)という映画で、一言会の活動や一寺言問のまちを撮影します。
ドイツの映画監督ブリギッテ・クラウゼさんも来日、東向島四丁目に約一ヶ月間滞在して、映画を撮り帰国しました。二人の女性監督が、心に描く下町が、どんな映像になるのか、楽しみですね。

一言言問地区が「キョウメニタリ」映画に?

8月11日に、板橋区仲町・弥生町・南常磐台一丁目地区の防災まちづくりの会(島豊治会長)の皆さんが一寺言問地区に見学に行っていました。
向島五東会館で、一寺言問地区や一言会の生い立ちを紹介するビデオを見たあと、まちづくりワークショップに出発しました。路地尊2号基から向島有季園、このあいだ完成したばかりの三とも通り、最後は会古路地に百花園通り。40人ほどの板橋区防災まちづくりの会の皆さんの中には、路地尊を熱心にカメラにおさめる方もいらっしゃいました。